

第4学年 特別の教科 道徳 学習指導案

第4学年3組

- 1 主題名 気持ちよく働く C 勤労、公共の精神
- 2 教材名 「琵琶湖のごみ拾い」 (出典：光村図書「どうとく」)
- 3 本時

(1) ねらい

琵琶湖のごみ拾いをするおじいさんの話から、自分もみんなとごみ拾いを始めたすみ太の姿などを通して、気持ちよく働くことのよさを考えさせ、進んでみんなのために働こうとする心情を育てる。

(2) 展開

	主な学習活動 ○発問 ・予想される児童の反応	○指導上の留意点 ☆評価
導入	(1) 教材の内容を、自分に引き付けて考えさせる。 ○ () のために働いたことはありますか。 ・部屋の片づけ (自分) ・ごみ捨て、風呂掃除 (家族) ・友達 (忘れ物を届ける) ・ボランティア活動 (世の中)	○主語を、自分自身から家族、友達、世の中と、だんだん広げることで、様々な活動を想起しやすくさせる。
展開前段	(2) 他者に向けた自主的な活動の「価値」について考える。 ○「ああ、気持ちがええなあ。」の言葉には、どんな気持ちが込められているでしょうか。 ・湖岸が美しくなって、気持ちがいい。 ・自分たちで進んで活動を達成できて、気持ちがいい。 ・誰かの役に立つことができ、気持ちがいい。	○「気持ちがいいこと」について、自らの活動の影響力の大きさを感じさせることで、価値付けする。
展開後段	(3) 各々の経験を共有し、認め合う。 ○自分自身の「気持ちがよかった貢献活動」を思い出し、グループで伝え合う。	○誰のために／どんなことを したのか 伝えるようにさせる ○グループで共有した後、クラス内でも発表の時間を取り、「自分にできること」の活動の可能性を広げる。 ⇔総合的な学習の時間「福祉」との関連 ☆気持ちよく働くことのよさについて、友達の意見を聞きながら考えている。
終末	(4) これからの自分の「生き方のめあて」を定める。	